

1 2月7日（月）朝礼にて 校長講話

しばらく朝礼に出ることができませんでした。雨でできなかつたり、出張でいなかたりして、教頭先生に代わりにお話をしてもらったりしていました。久しぶりに朝礼の場で、変わらぬ姿で参加してくれている、静かに話を聞けるみなさんに感謝します。ありがとう。

みなさんの正面からあたる風も冷たくなってきました。冬本番です。しばらく前に、ポケットからこんなものを出したのを覚えていますか。今朝、グラウンドを歩いてこんな葉っぱを見つけました。紅葉と漢字で書くと、いとへんにカタカナのエと書いて紅。赤のイメージが強いと思います。しかし実際には赤だけではない、黄色く色づく葉っぱもあります。中には松の様に常緑樹と言って、一年中緑という気もあります。一言で木といってもずいぶん違います。これが個性だと思います。

一言で弥中生、3年生、2年生、1年生といっても、一人一人は違う部分をたくさんもっています。生まれもって顔が違う、背の高さが違うなどがそうです。

実は、2つの花を持ってきました。ポインセチアです。みんなのイメージは、この下の部分が緑で上の方が赤の、まさにクリスマスカラーのものだと思います。街中にたくさん並んでいるものは、まさにこれだと思います。しかし、校長室にあったものはこれ。先生方に聞くと、昨年もらったもので、そのときは、赤と緑の美しいコントラストだったそうです。しかし、今年はこれ。先生の育て方が悪かったのか水のやり方が間違っていたのかと反省をしました。

インターネットで調べてみると、実は、ポインセチアは放っておくと全て緑色になってしまうのだそうです。ところが、24時間の半分を黒いおおいをする。真っ暗闇を半日つくってやると、この色が変わるそうです。

生まれ持った個性という話をしましたが、周りにいる友達、先生、家族がちょっと声をかけることによって、気持ちを寄り添うことによって、放ったらかしにしたら緑色になってしまう葉っぱもこんなに鮮やかな色になるんです。つまりみんなの隣にいるあなたの育てる個性があるということです。自分を見失いかけている人がいたら優しく声をかける友達がいる、そんなクラス、そんな学年、そんな弥中であって欲しいなと思います。

もう一つ。花壇にピンク色の花が咲き始めているのに気付いている人はいますか。山茶花（サザンカ）です。寒さが厳しくなってきたて咲く花の代表的なものです。みんなのイメージでは、花は春とか夏に咲くと思っているかもしれませんが、冬に咲く花のあることを覚えていて欲しいと思います。苦しくなったらこんな花もあることを思い出して下さい。